

地域包括ケアシステム維持のための ICT の活用に関する研究会（第 1 回）議事概要

1 日 時 令和 4 年 12 月 23 日（金） 9 : 54 ~ 11 : 25

2 場 所 東北厚生局 16 階会議室

3 出席者

（構成員）

藤田構成員（座長）、大坂構成員、佃構成員、平田構成員

（事務局）

井原局長、金山健康福祉部長、古川地域包括的支援構築施策分析官、

佐藤地域包括ケア推進課長

4 議事概要

事務局から資料に基づき、地域包括ケアシステムをめぐる現状認識及び将来的課題について説明。その後、質疑、意見交換が行われた。

〔主な意見〕

- ICT が必要な場面を具体的に考えていくことが大事である。
- 市販されている技術でもうまく組み合わせれば使える。介護のことをよくわかっている人が使い方を利用者に説明した方がいい。そういう人材の育成が大事である。
- 過疎化が進む地域にいる人たちにこそ ICT の利用価値がある。
- 介護ロボット使用のリスクとベネフィットのバランスを考えるべきである。

以上